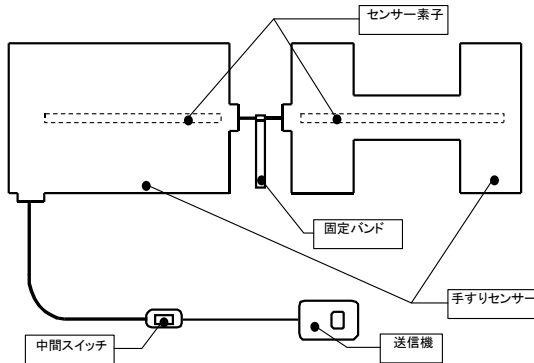


ワイヤレスタイプ手すりセンサー取扱説明書

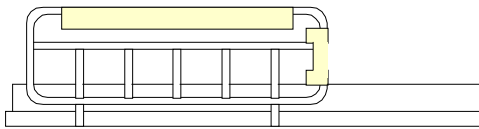
■ 構成

手すりセンサーの構成は下図のようになっています。ケーブルが絡んでいる場合は一旦きれいに分けてください。



■ 基本的な取り付け

- ① 手すりセンサーをベッドの柵に設置します。



柵の縦パイプと横パイプに取り付けます。

- ② 余分なケーブルは結束バンドを使い、きれいにまとめておきます。
- ③ 中間スイッチを入(ON)にします。



- ④ 送信機の動作確認をします。
手すりセンサーを握って、受信器側に通報されるか確認しましょう。
(必要に応じて電池の交換が必要です。)

■ 取り付け上の注意

- ① 送信器
(1) 収納時に中間スイッチを必ず「切」にして置いてください。送信器そのものは電池を電源としています。送信器電池切れを早める原因となります。
(2) 送信器は床に置いて踏みつけられないように邪魔にならないところに結束バンドを使ってまとめておきましょう。
(3) 電池交換はドライバーを使用します。
- ② ケーブル
(1) ケーブルはベッドの下に結束バンドを使いきれいにまとめておきましょう。

■ 保管、お手入れ

- (1) ケーブルが絡んでいる場合は一旦きれいに分けてください。
- (2) 本体、呼び出しボタンは、水または、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。汚れが取れ静電気も抑えられます。
- (3) シンナー・ベンジン類は変質や変色しますので使わないで下さい。
- (4) 収納時に中間スイッチを必ず「切」にして置いてください。送信器そのものはボタン電池を電源としています。送信器電池切れを早める原因となります。

⚠ 本商品は離床を強制的に防止するものではありません。離床行動の簡易的な報知器ですので、介護、見守りの補助器具としてお使い下さい。

⚠ 本商品ご使用による徘徊、離床の発生及び製品不動作、誤動作による事故等の障害について、弊社は一切責任を負いません。ご使用者の責任において安全にお使い下さい。